

がん化学療法レジメン登録票

新規レジメン登録の際にはプロトコルの提出が必須です
プロトコルがない場合は参考文献を提出してください

レジメン名	インライタ
診療科名	腫瘍内科
診療科責任者名	大山 優
適応がん種	根治切除不能又は転移性の腎細胞癌
保険適応外の使用	有 無

がん治療ワーキンググループ使用欄	
登録番号	Ur-28
登録日・更新日	2012年11月5日
削除日	
出典	インライタ添付文書
入力者	安室 修

投与順に記入(抗がん剤のみ)

No.1	薬剤名	規格	投与量算出式	ルート	投与時間	施行日
	インライタ錠	1mg, 5mg	5mg/回 2回/日 (10mg/day)	IV DIV IVHポート 側管 その他(po)	設定なし	Daily

1コースの期間	設定なし												
投与間隔の短縮規定	設定なし												
計算後の投与量上限値	100%												
計算後の投与量下限値	40%												
減量・中止基準 増量条件	<table border="1"> <thead> <tr> <th>用量レベル</th> <th>投与量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2段階増量</td> <td>10mg/回 2回/日 7mg/回 2回/日 2週間連続投与し忍容性が認められた場合に可能</td> </tr> <tr> <td>1段階増量</td> <td>7mg/回 2回/日 5mg/回 2回/日 2週間連続投与し忍容性が認められた場合に可能</td> </tr> <tr> <td>開始用量</td> <td>5mg/回 2回/日</td> </tr> <tr> <td>1段階減量</td> <td>3mg/回 2回/日</td> </tr> <tr> <td>2段階減量</td> <td>2mg/回 2回/日</td> </tr> </tbody> </table> <p>休薬基準 以下のいずれかに該当する場合 Grade4の血液系副作用、Grade4の非血液系副作用(高血圧・尿蛋白を除く)、 収縮期血圧 > 160mmHg、拡張期血圧 > 105mmHg、24時間蓄尿にて尿蛋白値 2g/24時間</p> <p>減量基準 Grade4の血液系副作用がGrade2以下に回復したあとの再開時 Grade4の非血液系副作用(高血圧・尿蛋白を除く)がGrade2以下に回復したあとの再開時 Grade3の非血液系副作用(高血圧・尿蛋白を除く) 収縮期血圧 > 160mmHgもしくは拡張期血圧 > 105mmHgが < 150/100mmHgに回復したあとの再開時 収縮期血圧 > 150mmHgもしくは拡張期血圧 > 100mmHg (最大限の降圧剤投与を行っている場合) 尿蛋白により休薬し、その後24時間蓄尿にて尿蛋白値 < 2g/24時間に回復したあとの再開時(同一用量継続も可能)</p>	用量レベル	投与量	2段階増量	10mg/回 2回/日 7mg/回 2回/日 2週間連続投与し忍容性が認められた場合に可能	1段階増量	7mg/回 2回/日 5mg/回 2回/日 2週間連続投与し忍容性が認められた場合に可能	開始用量	5mg/回 2回/日	1段階減量	3mg/回 2回/日	2段階減量	2mg/回 2回/日
用量レベル	投与量												
2段階増量	10mg/回 2回/日 7mg/回 2回/日 2週間連続投与し忍容性が認められた場合に可能												
1段階増量	7mg/回 2回/日 5mg/回 2回/日 2週間連続投与し忍容性が認められた場合に可能												
開始用量	5mg/回 2回/日												
1段階減量	3mg/回 2回/日												
2段階減量	2mg/回 2回/日												
前投薬													
その他の注意事項	2nd line 以降の使用に限定する												

記入者	安室 修
確認者	大山 優